

# 支援学校応援の日本人妻から (最終版)

○12月号○

私は今までサンタクロースについて、詳しく調べたことがなかったのですが、例えば wiki ペディアを調べてみるとどんなことが書かれているのでしょうか。各国のサンタクロースについて書かれています。じつは、サンタクロースは国によって、違いがあるようです。



私がそれを知ったきっかけは、ベルギーの12月6日が「聖ニコラの日」だったからです。この日、ベルギーの子どもたちは、シンタクラスがプレゼントを持ってくる日と信じています。まるでクリスマスのサンタさんのお話ですね。



このシンタクラスはオランダ語での呼び方であり、フランス語にすると「サンニコラ」と呼びます。(私の周りはフランス語圏ですし、みんなそう呼んでいるので、サンニコラと呼びますね。)

サンニコラは、じつはサンタクロースの原形らしいです。サンニコラの姿は、サンタクロースとちょっとだけ違います。(ベルギーの世界遺産の一つ、小便小僧がその衣装を着ているので見てください☆ ほとんど小便小僧の原型はないですが笑)

また、連れているのは、トナカイではなく、ロバと黒い肌のバイトさんピートです。ベルギーでは、幼稚園や学校にサンニコラ達(トナカイやピートも一緒に)が登場したりするところがあるようです。ちなみに、ベルギーの日本人学校にも、来ましたよ(笑)

私たちの知る、赤と白の衣装をまとったサンタクロースが広がったのは、コカコーラが関係しているそうです。

私はベルギーに住んで、もうすぐ一年になります。そこで、アジアではなくヨーロッパのいろんな文化を知ることができました。

ヨーロッパは同じ大陸にたくさんの国があります。ベルギーから、車や電車(場所によれば徒歩)で、隣の国に出かけることが簡単にできます。(日本でいうと、大阪から他の都道府県に行くように。)

そしたら、みんな同じ国のように思えてくるのですが、各国の人のお話を聞いたり、滞在したり、街を見たりすると、文化、習慣、考えかたさえも違いがあることがわかりましたサンニコラとサンタクロースが違うようです。

その違いは政治や歴史が関係していると思います。そう思うと、私も一人の日本人として、日本の政治や歴史について少しでも関心を持って、世の中を支えていく大人にならなければと思いました。異国に来て、たくさんの方がいろんな考えをしっかりと持っている姿を見て、私はそうやっていろんなことを思いました。・・・あくまで個人的な感想です(笑)

ベルギー便りは、これで最後になります。今まで一度でも呼んでいた方や、このようにベルギー便りという機会を与えてくださったことに、心から感謝いたします。本当に、ありがとうございました。

